

四国生物多様性ネットワークの8年間

2010年春、名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議をきっかけに四国の生物多様性に関係する多くの団体がゆるやかなつながりを持つため結成。

そして2017年、我々は四国各県を一周半し9月に香川県王越地区にて7回目の四国生物多様性会議を開催。

この8年間、四国各県の、メンバーは多くの「接点」を作る機会を増やしました。

当初から我々は「つながる機会＝情報の共有の機会」を増やそうと努力し、最初の3年間はIUCN-Jの支援をいただき、3県での四国生物多様性会議を開催しました。

その後各県独自の資金により四国横断の会議はもちろん、各県での動きも地味ではありますが、継続しております。

2015－2017の四国全体での動き

2015年 2月 第4回四国生物多様性会議in徳島開催

2015年12月 第5回四国生物多様性会議in西条開催

2016年 2月 第6回四国生物多様性会議 高知県須崎市

(併催『ふるさとのいのちをつなぐ～高知での生物多様性普及啓発イベント』)

2017年 9月 第7回四国生物多様性会議 香川県(王越地区)

各県のおもな生物多様性地域戦略についての取り組み

2015年ごろ以降

香川

- 2016年 香川県環境基本計画が改定。一部に生物多様性について言及
- 2018年3月 第4回生物多様性フォーラム
- 「生物多様性とは何だろう？ - 恵み豊かな里山から考える -」開催

愛媛

- 2015年9月 松山市北条地域生物多様性地域連携保全活動計画
- 2015年11月 生物多様性西条市地域連携保全活動計画
- 2017年2月 第2次生物多様性えひめ戦略
- 2017年10月 えひめ生物多様性まるごとフェスタの開催

徳島

- 2016年発足 とくしま生物多様性活動推進協議会
- 2017年開始 生物多様性とくしま会議がとくしま戦略見直し検討
- 2018年着手 生物多様性とくしま戦略改定作業委員会

高知

- 2019年 生物多様性こうち戦略改定予定
- 2017年 普及啓発のための事業実施
- * 生物多様性こうち戦略推進リーダー制度継続

ネットワークにできることは何だろうか

- ・県をまたいだ生物多様性のネットワークというものあまり聞きません。なぜかと考えたら、おそらく必要がない(各県の思惑がいろいろ・・・)からなのかもしれません。
- ・では「四国生物多様性ネットワーク」は高度に機能した組織なのかと聞かれたら、答えは「いいえ」です。インフラは脆弱で資金もないに等しいです。
- ・各県ごとの関連組織はそれぞれ独自に活動し、ネットワークが何か指示を出すこともないので。よく言えば地域に任せる。悪く言えば何もしません。
- ・現在の四国単位の事業というなら、年1回の会議。+SDGs目標に関する取り組みの支援です。
- ・が、このネットワーク(つながりというべきかもですが)があるおかげで、各県の情報が「ほしいとき」に手に入り、年1回の会議での情報交換も刺激になっているようです。また、県をまたいだ重大な事案発生時には即応できることも強みです。
- ・わざわざ「箱」や「仕組み」を用意しなくても・・・休眠しつつ・・・

今後目指すところ

広域の地域ネットワークの意味とはなんでしょうか。

それは中心に大きなハブ構造を持つ「極」のつながりを作ることではなく、不規則な編み目構造の「小さなハブ＝芽や根」の複雑なつながりを増やすことではないでしょうか。

そのほうがより柔軟で強靱なネットワークを作れると考えます。

そのために我々は今後もこの芽や根を作るために様々なきっかけを作ってゆきたいと考えます。